

鳥取市長選 庁舎改修や財政難など問題山積 ブれない鉄永さん、応援します

多くの県民の皆様から、今回の市長選に対する態度を尋ねられましたのでお答えします。私は元県議会議員長も務められた先輩議員の鉄永幸紀さんを鳥取市民の一人として全力で応援しようと思っています。

財政再建は頑固者の出番

私が4年前の市長選に立候補したのは箱物行政で財政は破綻寸前。教育と福祉は問題が多く、地元企業よりも誘致企業を優遇する経済政策に我慢がならなかったからです。

その後の4年間、市政は悪くなるばかり。住民投票



鉄永幸紀さん

んで参りましたが、鳥取市政を変えたいという思いは募るばかりでした。

敬愛する先輩議員である鉄永さんから立候補を予定していると聞き、私は

産業政策に強い政治家

鉄永さんは県議時代、県議会自民党会長として「産業振興条例」を議員提案で制定されました。誘致企業

即座に応援をお約束しました。その最大の理由は、鉄永さんが頑固一徹な方だからです。竹内市政12年の浪費の結果、鳥取市の基金は底を尽きました。しかも、合併特例による優遇措置が切れ、交付税が57億円減らされます。この財政再建は余程の頑固者でなければ務まりません。鉄永さんは最適任者です。

よりも地元企業を優遇し、地域資源を発見し、産業化していくという理念は、鉄永さんの発想です。この他、

災害に備え、最低300億円の基金を県に求めた決議も鉄永さんの成果です。伊藤美都夫議長時代、鳥取県議会は議会基本条例、倫理条例、議会だよりの創刊など議会改革が進み、早稲田大学や雑誌から全国2位の議会と高い評価を頂きました。最大大会派の会長として、会派の意見をまとめて伊藤議長を支えたのが鉄永さんでした。ですから伊藤議員も懸命に鉄永さんを応援されています。

以上の理由から、鉄永さんを応援します。皆様のご理解をお願いします。

鳥取市青谷町生まれ。鳥取西高を経て大阪大学理学部に進むも父の死で中退。

青谷町議会議員、同議長を経て、1991年県議会議員に初当選。以来、6期連続当選。県議会議長、県議会自民党政調会長、同会長、自民党県連幹事長を歴任。

鳥取市青谷町生まれ。鳥取西高を経て大阪大学理学部に進むも父の死で中退。

青谷町議会議員、同議長を経て、1991年県議会議員に初当選。以来、6期連続当選。県議会議長、県議会自民党政調会長、同会長、自民党県連幹事長を歴任。

鳥取市青谷町生まれ。鳥取西高を経て大阪大学理学部に進むも父の死で中退。

青谷町議会議員、同議長を経て、1991年県議会議員に初当選。以来、6期連続当選。県議会議長、県議会自民党政調会長、同会長、自民党県連幹事長を歴任。

鳥取市青谷町生まれ。鳥取西高を経て大阪大学理学部に進むも父の死で中退。

青谷町議会議員、同議長を経て、1991年県議会議員に初当選。以来、6期連続当選。県議会議長、県議会自民党政調会長、同会長、自民党県連幹事長を歴任。

県議会の勢力図は自民15人、共産6人、希望5人、公巡る意見書に共産が自民と対峙するなか、今回は否決だけでした。私も「反対」と声高に叫んでいます。その結果、議配慮ある表現にしてくれたい。気分も良いでしょう。案毎で賛否が異なり、意見書の余話 **自共反対で意見書否決** 議会の皆様

言葉一つを巡って議論を重ねる緊張感ある議会運営になっていきます。ただいた議員もあらまは、意見書などを可決してす。可決に持つていくため、県議会としての意思表示を

しかし、前定例会の特定「慎重な対応」「厳格な審査すべきだと私は考えます。秘密保護法の意見書に引き「査」と知恵を絞ったのです皆様はどう思いますか？